

子育てを考える教育講演会

大人にとって「問題行動」をくり返す子どもたち。反抗したり、すねたり、周りの人を困らせたり…。しかし、その「問題に見える行動」には大切なメッセージがかくされています。「良い子」にするのを急ぐのではなく、「育つ」ことを問いなおしてみませんか。

子どもが「育つ」ということ

不登校・発達障がいを「いのち」の存在として見る

(講師) 加嶋文哉氏

<講師のプロフィール>

1959年生まれ。大分大学卒業後に小学校教諭。在職中に「星の会」を設立し、延べ6,000人の不登校で悩む親たちの心を聴いてきた。2014年3月に退職した後、教育・不登校研究所「明日(あした)が見える」を設立。現在は、星の会(不登校・ひきこもりを考える親の会)代表、「不登校・ひきこもりを考える親の会ネットワークおおいた」の代表、「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」の理事を務めている。星の会は、2015年度の内閣府特命担当大臣表彰、「未来を強くする子育てプロジェクト」でスミセイ未来賞(2018年)、2018年度の大分県人権尊重社会づくり推進功労賞を受賞した。著書は「不登校の子どもに何が必要か」(共著・慶應義塾大学出版会)「気になる子と学級づくり」(共著・クリエイツかもがわ)がある。趣味は手品。



- 2019年7月7日(日) 13:00～16:00
(受付12:40)
- 杵築市文化体育館 ミーティングルーム
(杵築市本庄2005 杵築市総合運動公園内)
- 参加費 1,000円
- 問い合わせ…麻生 (090-3600-0603)
小犬丸(090-2081-0778)

<主催> かがやきの会 (杵築市・不登校と発達障がいを考える親の会) <後援> 杵築市教育委員会

杵築市・不登校と発達障がいを考える親の会

かがやきの会

- かがやきの会(杵築市・不登校と発達障がいを考える親の会)の例会は、原則として第4土曜日の18:00～21:00に行っています。
- 保護者以外に不登校や発達障がいについて考えていきたい教師・支援者・専門家・個人も参加できます。
- 例会の参加費は無料です